

2025年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年11月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エージェンテック

コード番号 174A

URL <https://www.agentec.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 涼 採

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 廣瀬 友彦 TEL 03-6206-4361

中間発行情報提出予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期中間期の業績 (2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	333	△5.1	49	△48.8	53	△45.9	35	△45.8
2024年3月期中間期	351	—	97	—	99	—	65	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	13.09	—
2024年3月期中間期	24.14	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	827	686	82.9	254.13
2024年3月期	818	666	81.5	246.85

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 686百万円 2024年3月期 666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	5.00	5.00
2025年3月期	0.00	—	—
2025年3月期 (予想)	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	724	0.2	125	△36.8	132	△35.0	82	△38.5	30.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | | |
|---|--------------------|----|
| ① | 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② | ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ | 会計上の見積りの変更 | ：無 |
| ④ | 修正再表示 | ：無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	2,700,000株	2024年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	—株	2024年3月期	—株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	2,700,000株	2024年3月期中間期	2,700,000株

(注1) 当社は、2023年7月12日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

(注2) 当社は、2023年6月19日付で自己株式31,460株を消却しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) キャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	3
3. 中間財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(1株当たり情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社が属するソフトウェア業界は、クラウドやモバイル、またVR、AR、XRといった新技術の出現、現在はGPTなどの大規模モデルの登場により生成AIが大きく脚光を浴びております。企業においては人材不足の解消や業務プロセスの効率化を目的とし、生成AIをはじめとするDX化のニーズが顕在化しております。

当社の主力商品であるデジタルコンテンツ共有ソリューション ABookBizにつきましては、MCM（モバイルコンテンツ管理）市場で、10年連続出荷金額・出荷ID数ともに市場シェア1位（デロイトトーマツミック経済研究所株式会社調査）を獲得致しました。こうした状況のなか、当社のビジョンである「未来を切り拓くIT価値を創造し、広く世界へ提供する」を引き続き継続実現するため、AI専門会社へ変革していくことを新たな目標とし、現在生成AI分野へ人材および資金の投資を活発化し、新たな新規サービスの開発に重点をおいております。また、当社独自開発のAIアシスタント機能を搭載したABookBizの提供を開始し、企業の生成AIニーズに対し、革新的なソリューションの提供を開始しました。

当中間会計期間のABookBizを中心としたストックサービスの売上は、260,102千円（前年同期比0.6%増）となりました。一方、自社ソフトウェア製品開発・販売サービス、受託開発売上については、将来を見据え、生成AI分野の研究開発に人材を投入したことから、従来の開発売上高は減少し、それぞれ34,082千円（前年同期比30.2%減）、32,068千円（前年同期比18.5%減）となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は333,191千円（前年同期比5.1%減）、営業利益は49,887千円（前年同期比48.8%減）、経常利益は53,747千円（前年同期比45.9%減）、中間純利益は35,349千円（前年同期比45.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は636,951千円となり前事業年度末に比べ14,774千円増加しました。これは現金及び預金が20,349千円増加したものの、売掛金が10,915千円減少したことが主な要因であります

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は190,449千円となり前事業年度末に比べ5,469千円減少しました。これは投資有価証券が3,354千円減少したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は141,250千円となり前事業年度末に比べ10,350千円減少しました。これは前受金が33,266千円増加したものの未払法人税等が23,336千円減少し、未払費用が6,778千円減少したことが主な要因であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は686,150千円となり前事業年度末に比べ19,656千円増加しました。これは13,500千円の配当をしたものの、中間純利益35,349千円を計上したことが主な要因であります。

(3) キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して20,348千円増加し、543,895千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得したキャッシュ・フローは、33,894千円（前年同期に獲得した資金は57,348千円）となりました。これは主に税引前中間純利益53,747千円を計上し売上債権の減少額10,914千円があったものの法人税等の支払額40,105千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得したキャッシュ・フローは、2千円（前年同期に獲得した資金は196千円）となりました。これは敷金・保証金の返還による収入2千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出したキャッシュ・フローは、13,500千円（前年同期に使用した資金は11,340千円）となりました。これは配当金の支払額13,500千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月15日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針です。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針です。

3. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,371	542,720
売掛金	77,838	66,923
仕掛品	7,919	5,951
前払費用	12,905	20,340
その他	1,307	1,233
貸倒引当金	△165	△216
流動資産合計	622,177	636,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,079	602
工具、器具及び備品(純額)	85	57
有形固定資産合計	1,164	659
無形固定資産		
ソフトウェア	805	594
無形固定資産合計	805	594
投資その他の資産		
投資有価証券	154,105	150,751
関係会社株式	3,661	3,661
敷金	19,988	19,625
長期前払費用	1,172	293
繰延税金資産	9,906	9,752
その他	5,114	5,111
投資その他の資産合計	193,947	189,194
固定資産合計	195,918	190,449
資産合計	818,095	827,401

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,133	11,268
未払金	14,835	5,525
未払費用	31,822	25,044
未払法人税等	40,105	16,769
未払消費税等	16,841	10,275
前受金	35,613	68,879
預り金	1,247	1,089
賞与引当金	—	2,397
流動負債合計	151,600	141,250
負債合計	151,600	141,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	40,000
資本剰余金		
資本準備金	25,300	25,300
資本剰余金合計	25,300	25,300
利益剰余金		
利益準備金	3,456	3,456
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	599,873	621,722
利益剰余金合計	603,329	625,178
株主資本合計	668,631	690,480
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,136	△4,330
評価・換算差額等合計	△2,136	△4,330
純資産合計	666,494	686,150
負債純資産合計	818,095	827,401

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	351,219	333,191
売上原価	130,486	157,129
売上総利益	220,732	176,061
販売費及び一般管理費	123,270	126,174
営業利益	97,461	49,887
営業外収益		
受取利息	4	58
受取配当金	156	355
有価証券利息	1,500	1,500
為替差益	138	—
雑収入	115	2,227
営業外収益合計	1,915	4,142
営業外費用		
為替差損	—	282
営業外費用合計	—	282
経常利益	99,377	53,747
税引前中間純利益	99,377	53,747
法人税、住民税及び事業税	35,234	17,083
法人税等調整額	△1,026	1,314
法人税等合計	34,207	18,397
中間純利益	65,169	35,349

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間	当中間会計期間
	(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	99,377	53,747
減価償却費	770	715
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	272	51
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,118	2,397
為替差損益	△226	48
受取利息及び受取配当金	△161	△414
有価証券利息	△1,500	△1,500
敷金償却	1,087	362
売上債権の増減額 (△は増加)	△18,109	10,914
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,767	2,053
その他流動資産増減額 (△は増加)	△5,768	△6,879
仕入債務の増減額 (△は減少)	49	134
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,793	△6,566
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	26,696	17,019
小計	96,045	72,085
利息及び配当金の受取額	1,661	1,914
法人税等の支払額	△40,358	△40,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,348	33,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
敷金・保証金の返還による収入	196	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	196	2
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,340	△13,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,340	△13,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	△48
現金及び現金同等物の増減額	46,430	20,348
現金及び現金同等物の期首残高	389,555	523,546
現金及び現金同等物の中間期末残高	435,986	543,895

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、ソフトウェア事業を主体に行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1 株当たり情報)

項目	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
1株当たり純資産額	246円85銭	254円13銭

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前中間会計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日)
1株当たり中間純利益	24円14銭	13円09銭
(算定上の基礎)		
中間純利益(千円)	65,169	35,349
普通株式に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る中間純利益(千円)	65,169	35,349
普通株式の期中平均株式数(株)	2,700,000	2,700,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権 (新株予約権の数21,175個)	新株予約権 (新株予約権の数5,960個)

(注) 当社は、2023年7月12日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。